



### 関西圏へ枕崎の魅力をPR

■ 5月6日から12日まで大阪市のあべのハルカス近鉄本店で開催された「ハルカス・ニッポン博覧会 鹿児島編」に本市も参加しました。会場では、かつお節などの特産品を紹介し、多くの来場者に枕崎の魅力をPRしました。



### 水源地等の清掃作業を実施

■ 6月1日～7日は水道週間でした。5日には水の大切さを再確認し、河川や森林の環境を守る取り組みとして、水道工事事業協会と水道課が深浦水源地の清掃作業を行いました。



### 第19回枕崎ぶえん鯉スタンプラリー抽選会

■ 6月17日、水産センターで行われました。今年是全国から1266通の応募があり、当選者には枕崎産豚肉や枕崎ぶえん鯉詰め合わせセットなどの豪華賞品が贈られました。



### こどもカツオマイスター検定を開催

■ 枕崎お魚センター等で、市内小学5年生を対象に、第14回枕崎こどもカツオマイスター検定が開催されました。今年も多くの子どもたちが検定に挑戦しました。



### 楽しみながらルールを学ぶ！ ～多文化交流のごみ分別体験

5月17日、枕崎青年会議所の主催により青少年育成事業「正しくポイポイ ごみの捨て方を楽しく学ぼう」が開催され、市内の小中学生と外国人技能実習生が参加しました。

はじめに市役所環境整備係の担当者から、枕崎市のごみ問題の現状や分別ルールについて講話が行われました。その後、小中学生と外国人技能実習生の合同グループで、用意された50種類のごみを使った分別ゲームに挑戦しました。グループ内で「これは何ごみかな？」と身振り手振りで伝え合い、言葉の壁を越えて互いに教え合うなど、笑顔を交えながら協力して分別を行いました。ごみの分別区分を実践的に学びながら、参加者全員で共に枕崎の環境を守り、「まちを想う心」を育む有意義な事業となりました。



### 今年も白夜祭に参加！ ～第10回日本最北端わっかない白夜祭

6月19・20日、北海道稚内市JR稚内駅前広場で開催された「第10回日本最北端わっかない白夜祭」に、枕崎市から、コンカツプロジェクト協議会、さつま枕崎鯉節協会、枕崎市通り会連合会が合同で参加しました。

友好都市である稚内市の皆さんに、かつお節削り体験、かつお一本釣り大会、カツオわら焼き体験、枕崎鯉船人めしの販売、枕崎市の特産品の販売を行い、枕崎市の魅力を伝えました。



### GMフォーエバーリニューアル記念式典 ～地域に開かれた交流・学びの場を目指しリノベーション

旧金山小学校を活用したICT拠点「GMフォーエバー」がリニューアルオープンし、5月22日に記念式典が行われました。

これは、旧金山小学校の校舎を全面改修し、全ての校舎を活用できるように行われたもので、今後は、これまでの職業訓練や企業向けのIT研修・導入支援に加え、地域に開かれた交流と学びの場として新たな取り組みが開始されます。

施設内には「金山食堂」のほか、子どもたちの学びの場となる音楽室、アートルーム、デジタルルームが整備されます。また、サテライトオフィスも順次オープンする予定です。



### 投稿 絆を深めた渋谷・鹿児島おはら祭 ～投稿者：秋谷真由美(関東枕崎会)

5月17日、若者の街「渋谷」で、第29回渋谷・鹿児島おはら祭が開催され、61団体約2300名の華やかな衣装が街を彩りました。関東枕崎会から29名、地元枕崎からも5名が駆けつけ、計34名でパレードに参加。本番前に円陣を組み「チェスト！」の掛け声で終了しました。沿道からの応援も温かく、全員が終始笑顔を保ちました。遠く離れた地でも故郷を深く感じた、最高の一日となりました。



### 県美展南薩地区展を開催 ～第72回県美展の南薩地区関係作家作品を展示

5月31日から6月14日までの期間中、南冥館において開催し、鹿児島市の市立美術館、黎明館で開催された「第72回県美展」の、南薩地区関係作家の入賞入選作品を展示しました。6月7日には、ギャラリートークも行われ、多数の来場者でにぎわいました。



### 100歳の誕生日を迎えました ～城森フミさん(妙見町)

5月31日に城森フミさんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎市出身の城森さんは、3人の子どもに恵まれ、若い頃は農業をしており、ぼんかん、たんかんなどを育てていました。仕事一筋で過ごしてきたという城森さんの長生きの秘訣は「野菜を多く食べることです」と話します。

これからも元気で長生きしてください。